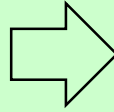


きめ細かな管理による良質米生産と、若手による園芸拡大

経営体の概要

法人設立：平成24年
 基幹作物：水稲
 経営面積：18ha



現在：令和元年
 基幹作物：水稲、野菜
 経営面積：34ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本法人は、昭和58年に機械利用組合として設立した組織が前身で、現組織は、農産物の生産から販売までを行う農業法人として平成24年に設立している。前歴及び現在実施中の国営かんがい排水事業により農業用水が安定供給され、平成11年度からの関連県営ほ場整備事業による大区画化や農地集積が推進されたことから、大型機械を導入するなど農作業の効率化・低コスト化に取り組み、設立当初の約18haから、現在は約34haまで経営規模を拡大している。また、平成29年から新たに園芸作物の導入・拡大を図る等、収益力向上を図っている。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

本法人で栽培する水稲のうち、コシヒカリ・五百万石・菊水は、新潟県特別栽培農産物認証を受けており、農薬使用回数及び化学肥料の使用量を慣行の5割以下に削減して栽培している。肥料・農薬を最適期に行う必要があるため、病害虫の発生状況や成育状況をきめ細かに確認し栽培管理している。



ライスセンター

②省力化

基盤整備による大型機械の導入や農作業の効率化により生じた時間の活用、収益力向上を図るため、平成29年から新たにえだまめとキャベツを導入している。えだまめは、定植から収穫までほぼ機械化しており、選別作業にベルトコンベアを導入して更なる省力化を図っている。キャベツは、現在、定植機のみ導入しているが、将来的には全作業機械化を目指している。



キャベツの栽培

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：新潟市、新発田市及び聖籠町
 受益面積：6,121ha
 事業期間：平成24年～令和5年
 事業目的：用水改良
 主要工事：ダム1箇所、ため池1箇所、頭首工3カ所、用水路L=21.2km、用水管理施設一式

位置図（新潟県）



加治川用水地区

<問い合わせ先>

北陸農政局
 農村振興部農地整備課
 営農指導係
 電話：076-232-4725

（令和元年度調査時点）